

開かれた学校づくりを目指して

No. 3

令和3年3月4日
愛知県立豊橋西高等学校

豊橋西高等学校では、本年度の基本目標を「授業・学校行事・部活動・生徒会・ボランティア活動等を通し、自尊の感情と自己有用感を育て、心豊かな活力ある生徒を育成する。」、「物質面・精神面共に、安全・安心で信頼される学校を目指し、日々努力を続ける活気ある学校づくりを推進する。」、「普通科から総合学科へ、進学重視かつ地域密着を重視した特色ある学校づくりを目指す。」と定め、分野別に重点目標を設定し、その達成を目指して努力してきました。年度末にあたり、2学期末に実施しましたアンケート結果（教職員・生徒・保護者）と、中学校の先生方や学校評議員の方々の御意見を踏まえて、この1年間の取組の成果と反省をまとめました。（四角枠内は本年度重点目標です）

〈学習指導〉～個々の習熟度に応じた学習指導と規律ある学校を目指して～

○ 学習指導方法の工夫と改善を図る。

現職研修の「教員相互授業参観週間」を通じて学習指導方法の改善を図ったり、授業にICT機器を取り入れるなどの工夫をしたりすることを通じて、指導方法の向上とともに生徒の学習時間を増加させる取り組みを行ってきた。生徒アンケートや保護者アンケートでは、課題に対する取り組みや、家庭学習時間に関する項目で前年度よりやや肯定的な回答が得られた。生徒の自発的な学習につなげるためのさらなる学習指導方法の改善が必要である。

〈教育情報〉～情報セキュリティの向上を目指して～

○ 情報機器を安全に運用する。

定期的にネットワーク上の電子データの点検などを行い、校内のネットワークを安全に運用した。ネットワーク環境やICT機器の更新に適切に対応し、その利用や注意点について全職員に周知徹底する取り組みを行った。その結果、教職員アンケートの「我々は、情報機器を安全に運用している。」の項目で、「かなり思う」の回答率が82.1%（前年比+13.1%）に上昇し、改善が見られた。今後もさらなる情報セキュリティの向上に取り組んでいきたい。

〈進路指導〉～夢の実現を目指して～

○ 進路目標の早期確立とその実現に向けての取り組みを促す。

就職試験及び推薦試験受験者に対し全職員体制で個別指導を行い、例年並みの成果を上げることができた。臨時休校の影響で一部予定の変更もあったが、9月以降の課外授業、模試等については予定通り実施することができた。今後も、進路行事の内容を生徒の実態に合わせてしっかりと検討し、生徒が自己の進路について具体的に考え、進路実現に向けて学習意欲を高める機会としたい。

〈生徒指導〉～基本的な生活習慣の確立を目指して～

○ *「STOP600」をスローガンとして遅刻件数の減少を目指す。

○ 交通安全指導、いじめの早期発見などを通して命を守る教育を行う。

遅刻件数は、1月29日時点で597件。一部の生徒が何度も遅刻を繰り返しているため、改善が見られない生徒への指導が課題である。早朝登校指導を徹底したり、各教員から積極的な声かけなどをしたりすることで、次年度も「STOP600」の目標達成を目指す。

交通事故件数は、例年とほぼ変わらない数字だった。しかしながら、ゼロの日交通立ち番をPTAと合同で実施する回数を増やすなど、今まで以上に交通安全への意識を高めた結果、100日間無事故無違反ラリー（スガキヤ主催）を達成することが出来た。

*「STOP600」とは、生徒の年間累計遅刻数を600回未満にする目標です。

〈生徒会〉～生徒会活動の充実を目指して～

○ HR活動、生徒会活動、部活動において、生徒の意見が活かされる学校を目指す。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は文化祭のクラス発表を中止して文化発表会として実施し、体育大会とクラスマッチを合わせてスポーツ大会として実施した。行事は縮小されてしまったが、生徒は明るい表情で積極的に行動していた。また、昨年度に続いてエコキャップ回収や表彰補助などを生徒会が行った。様々な行動が制限される中で、自分たちで考えて主体的に行動することができた。

〈PTA活動〉～PTAの充実を目指して～

○ 持続可能なPTA活動体制づくりを進める。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、PTA総会を書面決議にするなど、活動の仕方を大きく変えざるを得なかった。会議以外の目立った活動がなく、「PTAとして何かした」という実感は乏しかった半面、感染拡大防止に十分留意しながら臨機応変に対応できたと思われる。次年度も柔軟な姿勢でPTA活動体制づくりに努めたい。

〈防災学習〉～防災学習の充実を目指して～

○ 防災意識を向上させる。

シェイクアウト訓練（＝抜き打ちの1分間避難訓練）とプリントによる風水害についての学習を行った。前者については、突然やって来る地震への臨機応変な対応方法を身につけさせるという点で、後者については、地震以外の天災についての予備知識を入れるという点で、それぞれ有意義だったと思う。次年度は、特に風水害についての知識を生徒に深く学ばせたい。

〈学校保健〉～落ち着いて学ぶことのできる教育環境を目指して～

○ 生徒が落ち着いて学ぶことのできる学習環境の充実に努める。

朝の健康観察だけでなく、多くの教員が目で常時健康観察を行い、個々の生徒の健康状態を確認している。必要に応じて、相談担当の教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門スタッフと連携して、保健指導や相談指導を実施している。また、要望がある時には保護者との面談も行った。生徒の環境美化に対する意識も高く、箒やフローリングワイパーなどを使って丁寧に清掃を行っている。今後も学習環境の充実に努めていきたい。

〈図書館活動〉～読書活動の充実を目指して～

○ 心豊かな活力ある生徒を育成するため、読書活動の推進に努める。

「朝読」は一年を通じて行われ、本校の活動として定着している。そのための文庫の設置（各クラス）や図書委員によるポスターでの啓蒙活動も実施できた。一方で、図書館利用者を増やすことが今後の課題である。

〈現職研修〉～教職員の資質向上を目指して～

○ 各研修・業務を円滑に実施できるよう努める。

○ 多忙化解消に向けて、ワークライフバランスを意識した環境整備に努める。

現職教育は新型コロナウイルス感染症防止のため実施できなかった。教育実習については、時期を遅らせて行ったが、実習生の前向きな取り組みが、多くの先生方に評価された。

多忙化解消については、引き続き環境整備に努めたい。

豊橋西高校のホームページを御覧ください。
(<http://www.toyohashinishi-h.aichi-c.ed.jp/>)
学校行事の予定、活動の様子等を紹介しています。